

禊祓詞 みそぎ はらへの ことば

掛巻かけまくも綾あやに畏かしこき 神伊邪那岐大神かむいざなぎのおほかみ 筑紫つくしの日向ひむかの橘たちはなの小戸をどの憶原あはぎはらに

禊祓みそぎはらひし給たまふ時ときに成なりませる祓戸はらへどの大神達おほかみたち 諸々の禍事もろもろ まがごと 罪科汚つみとがけがれを 祓はらひ給たまへ 清きよめ給たまへ

と白まをすことよしの由よしを 天津神あまつかみ 国津神くにつかみ 八百万やほよろづの神達かみたちとも共にきこしめ聞召かせと恐かしこみ畏かしこみ白まをす

富普加美とほかみ 惠多目えみため 祓はらひ給たまへ 清きよめ給たまへ

富普加美とほかみ 惠多目えみため 祓はらひ給たまへ 清きよめ給たまふ